No. 132 2018. 10

（株）よかネット

NETWORK

佐賀県子育てシェア事業のご紹介 …… 2
『全国まちづくり会議 in 福岡』の報告 …… 3
『全国まちづくり会議 2018in 福岡』～パネル展示～ …… 5
皆様から寄せられた「よかネット」へのご意見、近況などの紹介 …… 6

見・聞・食

志賀島レンタサイクル体験～爽快な島 1 周のサイクリング～ …… 8

近況

台湾で見つけた日本 …… 9
我が家のリフォーム奮闘記－その1 …… 10
関西旅行記 …… 11
新米お父ちゃん頑張ってます …… 12

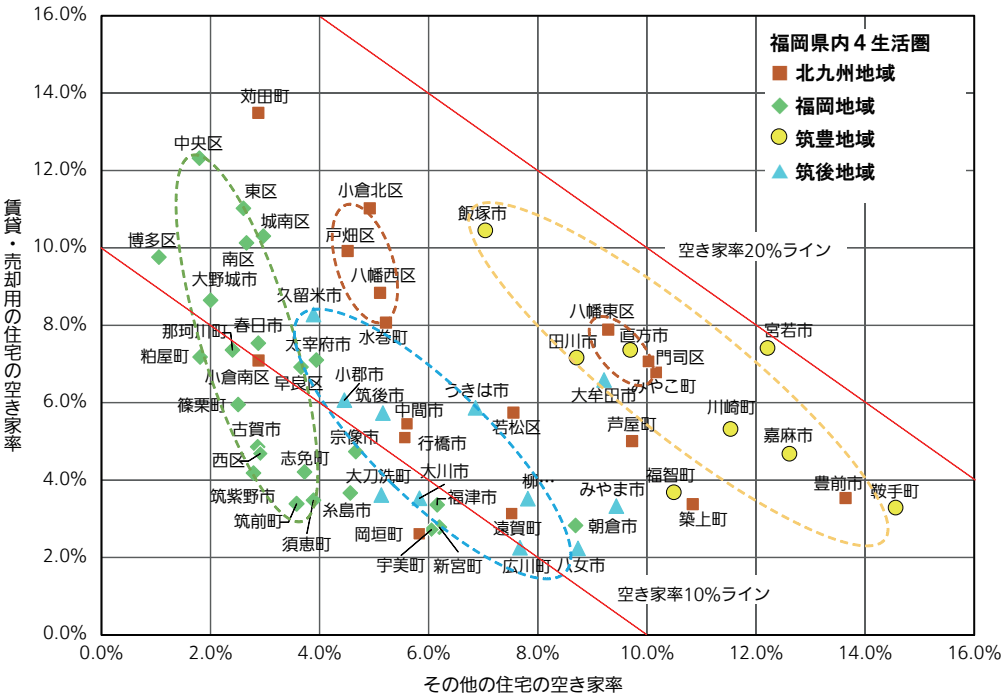
表紙解説 …… 13

●住宅の空き家率は市町の特性を著す

図は「平成 25 年住宅・土地統計調査」より、福岡県内の４生活圏に属する市区町別の住宅について、住宅総数に対する「賃貸用・売却用住宅」※と「その他の住宅」※のそれぞれの空き家率によりプロットしたものである。空き家率の 10%、20%の赤ラインは、２つの空き家率の計を示すラインとなる。

これから、人口が減少し、いずれは高齢世帯も減少していく中、地域の空き家問題は今後も重要な地域問題として続くと思われる。現在、どういう空き家が多く、今後どうなるのであろうか。

その一つの視点として、住宅ストックに対して、「賃貸用の住宅」や「売却用の住宅」など、「①空き家ではあるが、今後の活用の方針が確認されているもの」と、「その他の住宅」として、「②長期にわたって不在の住宅、取り壊し予定の住宅、空き家の判断が困難な住宅など活用方針が定まっていない、あるいは放置されている空き家」、この２つの項目で、空き家率を市区町別にみてみた。（表紙解説 13 頁）



※空き家率ライン：「賃貸用・売却用」「その他の住宅」の空き家率の計　資料：2013(H25)年　住宅・土地統計調査

※「住宅・土地統計調査」の表記について
「居住世帯のない住宅」：ふだん人が居住していない住宅を示しており、
３カテゴリーとして、
・一時現在者のみ
・空き家
・建築中
で構成
このうち、空き家は
・二次的住宅（別荘他）
・賃貸用の住宅
・売却用の住宅
・その他の住宅
「その他の住宅」とは
転勤、入院などのため居住世帯が長期にわたって不在の住宅や建て替えなどのために取り壊すことになっている住宅など
（注：空き家の区分の判断が困難な住宅を含む。）

佐賀県子育てシェア事業のご紹介

原　啓介

●子育て支援の受け皿は大都市でも地方でも不足している

私はいま、長女が小学校４年生、次女は１年生、3女が３歳と、子育て真っ最中。我が家は結婚以来ずっと共働きで、3女は現在、保育園に通っている。互いの職場の理解もあり、まだファミリーサポートセンター（育児援助を受けたい人と行いたい人とのマッチング）にお世話になったことはないが、一番困るのは子どもの急な病気。幸い、病児保育をしている小児科が近くにあるが、風邪が流行っている時期は予約を取るのが困難で、どうしても仕事を休めないときは義理の父親宅に預かってもらっている。

全国的にも、我が家のような共働き世帯が増えており、子育て支援機関も増加してはいるものの、待機児童の発生など、まだまだ受け皿を増やす必要があるとの話を聞く。そして、この状況は関東・関西や福岡市などの都市部に限った話ではない。

●子育て支援サービスの利用・提供ニーズをマッチングする仕組みが広がっている

こうした状況を踏まえ、昨今、民間企業による子育て支援サービスが続々と生まれている。その中でも、ＨＰやスマホのアプリを活用してニーズをマッチングする「子育てシェアリングサービス」を３つご紹介する。

KIDSLINE（キッズライン）
- 通常のベビーシッターサービスの約３分の１の値段、１時間1,000円～で、即日手配も可能なオンラインベビーシッターサービス。
- 子どもの対象年齢は０～15歳で、通常保育、病児保育以外にも産前産後ケア、英語や音楽レッスン、家庭教師、家事などの依頼も可能。

AsMama（アズママ）
- 友人、知人とともにグループで登録する仕組み。
- 登録料、手数料は無料。最低料金は１時間500円。AsMamaは子育て世帯から費用は徴収しない。
- ワークショップや交流会を開催して、地域のお世話役ママサポーターや地域の親子と友だちになれる場を提供している。

ENYTIMES（エニタイムズ）
- スマホを通して自分の得意なことを販売できるアプリ。困りごとを近所の誰かにリクエストすることもできる。
- 値段や場所などは全てユーザー同士で決定。アプリ内に決済システムや評価システムがあるため、安心して取引することができる。

●佐賀県は今年度、ネット上で子育ての利用・提供ニーズをマッチングする事業を実施

佐賀県こども未来課によると、佐賀県においても核家族化が進み、共働き家庭が増加し、地域での子育ての受け皿が不足している状況があるそうだ。

具体的には、ファミリーサポートセンター事業（以下、ファミサポ事業）の事業実施地域は県内20市町中15市町に留まっており、その理由は国庫補助要件である50人以上のサポーター数が確保できないためとのこと。また、実施市町の利用者からは、「ファミリーサポートセンター事業は家事援助がないので不便」「兄弟での利用や特別支援学校への送迎で利用したくても、年齢制限で認められない」「開庁時間以降のサービス申込みができない」といった声が寄せられている。

今年度、佐賀県こども未来課では、総務省「シェアリングエコノミー活用推進事業」の採択を受け、KIDSLINE、AsMama、ENNYTIMESといった企業が提供する子育て支援関連のアプリを利用して、子どもの預かりや送迎、家事代行などのニーズをマッチングする実証事業を５つのモデル市町（佐賀市、神崎市、多久市、有田町、江北町）において実施する。この事業をNPO法人価値創造プラットフォームが受託することと

江北町での説明会の様子。50 名ほどの参加があった

なり、弊社も県民のニーズ調査や、参加者の満足度調査、事業の効果分析等の業務を担当させていただくこととなった。

●子育てシェアの認知度はまだまだ低い

同事業を開始するにあたり、佐賀県在住の 20 代～ 40 代の女性 1,031 名にインターネットアンケートを実施したところ、「子育てシェアリングサービス」を知らなかった割合が 94.5%と、認知度はまだ低い。また、「利用したい」割合は 27.3%と、サービスの認知から利用推進に向けて、越えなければならないハードルは高い。

一方、佐賀県の在住年数が「0 ～ 5 年以内」の方は「利用したい」と回答した割合が全体と比較して約7ポイント高く、転入者は地域コミュニティとのつながりが薄い分、ニーズが高いことがうかがえた。

●今後、地道な認知・利用の拡大を図っていく

自分の家庭は、両親が近くに住んでいるため、いざというときは子どもを預かってもらうなど頼ることができるが、都市部に住んで知り合いも少なく、夫婦ともに正社員といった立場の場合はこうしたサービスに頼る場面は多いのではないかと思う。実際に、今回ご紹介した 3 つのサービスの利用者は年々拡大していると聞く。

今後、県内 5 つのモデル市町での住民説明会に加え、佐賀県や各市町の HP、チラシや SNS での発信など、子育てシェアリングサービスの認知・利用の拡大に取り組んでいきたい。

ご関心のある方は、ぜひ佐賀県の HP をご覧ください。

佐賀県「地域 de シェアエコ実証事業」HP
http://www.pref.saga.lg.jp/kiji00363019/index.html

（はら　けいすけ）

『全国まちづくり会議 in 福岡』の報告

山辺　眞一

2018 年の福岡市開催の話しが飛び込んできたのは、昨年の 11 月下旬のこと。ずいぶん前に都市計画家協会は退会していたのだが、家協会の元理事の山田は付き合いがあったようで、日頃からお世話になっている方々からの要請でもあったため、再度都市計画家協会に加盟し、準備活動に参加することとした。

12 月 18 日九大の箱崎キャンパス建築学科教室で、実行委員会準備会の立ち上げ会が開催された。箱崎キャンパスは、既にほとんどの施設が伊都キャンパスへ移転しており、この 9 月で移転完了し、建築学科の建物や人文社会科学、農学系は引っ越しの準備が始まったころであった。久しぶりに訪れた箱崎キャンパスの様子は一変し、この日の夜の寒さに加えて、人気の無いキャンパスは寒々しかった。学生時代に設計演習や卒業設計で真夜中に行き来していた頃を思い出した。当時は建物もあり、あちこちの窓から光が見えていたので、寂しいと感じたことはなかった。

全国まちづくり会議 2018 in 福岡のポスター

準備会は、事務局からの声かけメンバー11名とサポートの九大生4名が集まった。そこでは、2018年1月の第1回実行委員会を立ち上げに向け、実行委員会への参加を各メンバーから呼びかけ。先ずはメインテーマを構成するサブテーマ「都市の強靭性」「都市の個性」「都市の高質性と持続性」を構成するための各分科会を詰める実行チームのリーダーとなるキーマン発掘を進めることとなった。

この段階でのまちづくり会議のテーマは、小林会長の思いから、『関係が生まれる時空のデザイン～人と時間の繋がりが生きる都市の個性～』という案であった。最終的には、ポスターにも掲載されている『人と時のつながりが紡ぐ「まちの個性」～関係が生まれる時空のデザイン～』となった。いずれにしても、まちづくりの継承と持続のために我々は何をすべきか、これが大きなテーマであったと思っている。

全国まちづくり会議は、二日間にわたって、まちづくり活動に参加する人、興味のある人、実践している人たちが、集い、知り合い、議論する場となり、ここで生まれる新しいネットワークは、まちづくり活動において大きな財産となっている。

昨年末の準備会から、年明け1月に始まった実行委員会は、8月まで毎月定期的に開催され、回を追うごとに徐々に参加メンバーが増えていくのには驚いた。また、協会の渡会副会長をはじめとした理事の方々の出席、助言をもらいながら、9月8､9日に無事に開催することができた。

また、開催地である九州大学では、伊都キャンパス完成記念行事の一環として共催されたこともあり、開会式には久保九大総長、中園福岡市副市長による歓迎の挨拶もあり、多くの人たちの参加が実現した。

協会による特別表彰では、福岡市出身の森田一義（タモリ）氏を特別表彰することが話題になっていた。理由は、NHKの番組における、まちの成り立ちやこれまでの歴史を読み解くことで、まちの面白さが広く世間に広められ、その結果、人々のまちへの興味が生まれ、まちを

パンフレット

見直すきっかけにもなっていること、都市の理解を深めることに貢献されているということであった。残念ながら、ビデオレターによる出演であったが、当日の表彰現場では、数多くの興味深い話しが聞けたようである。この後の基調講演、２日間の分科会・フォーラムについては、左記のようなテーマで開催され、延べ500人の人たちが、興味のある分科会・フォーラムに参加していた。　　（やまべ　しんいち）

『全国まちづくり会議2018in福岡』 ～パネル展示～

仙波　大海

全国まちづくり会議では、基調講演、パネルディスカッション、大小さまざまなフォーラム等、沢山の催しが開催されました。その中で私はパネル展示の部門をお手伝いさせていただきました。

パネル部門では大学、市役所、企業、ボランティア団体など17つの団体が参加し、全国まちづくり会議の今年のテーマ『人と時のつながりが紡ぐ「まちの個性」～関係が生まれる時空のデザイン～』に沿ったパネルが展示されました。そこで、展示された企業と展示内容について簡単ではありますが、数団体ほど紹介させていただきます。

１つ目は西南学院大学の取り組み「姪浜西南大学まち（西南学院大学インキュベートプログラム）」です。姪浜地域（商店街）をフィールドに学生と地域の方々が対等に交流する場をつくり、学生の社会力向上、姪浜地域の活性化を目的に取り組みが始まりました。

学生が地域のイベントに参加、イベントを企画、アンケート調査の実施を通して得られた学び（メリット）を地域の視点、学生の視点から発表されていました。

２つ目は「福岡市住宅都市局跡地活用推進部」です。今回の会議会場となった九州大学箱崎キャンパス跡地のまちづくりについて、「成長・活力・交流」、「教育・研究」、「安心・安全・健やか」、「歴史文化」、「環境・エネルギー」の５つの視点から方針を定め、まちづくりの方向性を「FUKUOKA smart EAST」計画をもとに都市空間整備の考え方や都市機能整備の方向性等の発表が行われました。

３つ目は「積水ハウス株式会社　福岡マンション事業部」による福岡アイランドシティ整備事業の進捗状況の発表です。

「環境共生」のまちづくり、「健康」のまちづくり、「みんなで関わる」まちづくりの３つの基本方針を軸に進められており、その成果として人口8,400人、2,700世帯の（2017年３月末時点）居住者がこの地に住まわれているそうです。今後の展望として「次世代につなぐIoTや文化・アートの充実のまちづくり」が挙げられています。

最後に「福岡市水源林ボランティアの会」の取り組みです。福岡市水源林ボランティアの会は、福岡市水道局と共働で水源かん養林を守るために活動している団体で、これまでの活動の記録や団体の説明が展示されていました。また、水、森林の保全についてだけではなく、竹やどんぐりを使ったリサイクルアートは、来場者を大変楽しませていました。

今回ご紹介した企業や団体以外にも沢山の魅力ある取り組みが展示会では発表されていましたが、この２日間を通して沢山の取組みを来場者の方に知っていただけたと思います。

今回のまちづくり会議のパネル展示に来場された多くのまちづくり関係者の方々に対して、

プレゼンタイムでは多くの来場者が各取組みを聞きに訪れました

企業、団体、個人が様々な情報発信をきっかけにして、これからよりおもしろい魅力的なまちづくり活動が生まれることが期待されます。私も全国まちづくりの取組みについて大変勉強になった会議でした。　　（せんば　ひろみ）

皆様から寄せられた「よかネット」へのご意見、近況などの紹介（敬称略）

■各地に地震が起きています。その為に今は大阪地震の調査業務で忙しくしております。地震に重ねて水害もひどいです。身を守るすべを身につけましょう。　　（福岡市　簑原　信樹）

■ 2016 年 1 月末で大阪（タイ国政府観光庁）に統合された事務所が再び公式に福岡事務所として再開することに。プラス、マイナスと両面ありますが、アウトバウンド促進に向け双方向交流になればと思っています。アウトバウンドに対したビックデータの活用を教えてください。　　（鳥栖市　冨松　寛考）

■浪の平地区（長崎南山手）の歴史を探り、現実の空家、空地問題を解決する取り組みを実践しています。EV ＋横道整備を斜面市街地の「インフラ」と提案しています。伝建地区のマリア園がホテルに更新されます。

（長崎市　鮫島　和夫）

■頭、目、足、腰、どこもここも弱っていますが、まだ口奇心はたっぷり。トイレを気にしながらも、街歩き、食べ歩き、飲み歩きも。今「そいばってん佐賀」（佐賀）の出版準備中。乞うご期待！

（佐賀市　平尾　茂）

■ほぼ毎日が日曜日です。家庭菜園はやっています。毎日 1 時間強歩いています。山登りは今のところ休会状態です。

（北九州市　丸山野　美次）

■えびのは硫黄山のため、米作りが出来ず農家の方々が大変です。早く終息を願っています。

（えびの市　妹尾　哲男）

■毎々良い情報に感謝しています。関西に住んでいますので、九州の状況が良く分かり役立つ情報です。今後も益々発展を祈っています。

（宝塚市　野田　浩男）

■ 73 才の私は「健康寿命はどれくらい？」を興味深く読ませてもらいました。昨年の物故者のリストが新聞に載っていましたが（各界で活躍した人）90 才を越えていた人は 2%にも満たない数でした。長寿社会といっても、よかネットの表でも判るように、都会人であればある程ストレスも多く寿命も短くなる傾向にある様です。各種の要因の中で私はストレスの有無ではないかと思っています。私自身はどれ位のストレス被爆者か判りません。神のみぞ知るでしょう。　　（福岡市　西岡　弘）

■東日本大震災は、熊本地震や阪神淡路と異なり、津波・原発という異種類の被害が絡むので、これらの要素を踏まえた分析が必要と思いますが、なる程と思う内容のものが少ないですね。実査をなさったので、次はその分析に期待します。　　（東京都世田谷区　寺島　清）

■鳥栖の九州重粒子綜施設管理（株）に 10 年勤め今年 6 月顧問を最後に退職し、東京に引っ込みました。おかげ様で治療実績も 3,000 名に近づくなど良い成績を残しているものの取巻く医療環境はむずかしく、苦戦はしていますが、良い治療である事は間違いありません。

（東京都世田谷区　山野　宏）

■「Amenity Compact Network」について、日本モノレール協会で、関係苦労した人達で座談会をやりました。好評でしたので、JICA で途上国 20 ヵ国と共に研修計画を企画しています。

（小金井市　渡部　與四郎）

■訪日外国人 3,000 万人時代を迎え、地方を含め観光産業が主力産業の一つとなりつつあると思います。地域の主力産業としての観光のあり方に関心を持っています。

（大阪市　山内　芳樹）

■「田舎の力が未来をつくる！」（ヒト・カネ・コトが持続するローカルからの変革）合同出版、好評発売中です。ぜひ読んでいただけると幸いです。よろしくお願いします。

（東京都品川区　金丸　弘美）

■“水問題”の検討！！大いに期待！弊社、創立 35 周年を迎えました。

（那覇市　備瀬　知伸）

■ちょっと固いなぁ～と思いながら自らが理解するよう読んでおります。自分達が楽しみ、周囲が喜ぶ活動を「ふるさと食農ほんわかネット」は目指しています。　（熊本市　髙木　正三）

■2018年4月より新組織「産学・地域共創センター」を発足させました。鹿児島大学、地域に向かって積極的に出て参ります。今後とも宜しくお付き合いの程、お願い申し上げます。

（鹿児島市　中武　貞文）

■熊本地震の被災マンション支援を継続しています。　（大阪市　藤本　佳子）

■先日の台風7号の強風で、自宅西側の壁に7m近くまで成長していたナツヅタが崩落してしまいました。去年の秋の紅葉が素晴らしく、今年はもっと期待していたのですが、ガッカリです。気象による被害を受けている農家の方々の気持ちの1/1000くらいはわかりました。崩落後、下の方でカットしました。根は生きていると思いますので再生を期待していますが。

（福岡市　江上　徹）

■いつもありがとうございます。地域の「表層」変化を追いつつ、地域の「根っこ」にまで眼差しを向けていく必要を感じます。そして「根っこワーク」が張れればと思います。

（糸島市　坂口　光一）

■日本列島災害のニュースばかりの昨今、宅地開発を指導してきた職歴から、山をけずり谷を埋めてきた住宅団地が気になる日を過ごしています。　（川西市　髙橋　久栄）

■小生、今年独立34年目です。今世紀共同住宅38棟1287戸設計しました。

（宗像市　尾崎　浩文）

■経験したことがない大雨情報。日本列島猛暑で包囲など、3.11以降の災害を知ると、このようにして時代の変化を知り、自分なりの対応を迫られている気がします。（データ、経験プラス自分の勘、感）　（福岡市　田中　瞳）

■6月16日に小城市民交流プラザにて小城祇園祭702年記念「葉隠シンポジウム」を開催しました。直近の小城市の変容が激しい中で、禅の文化が色濃く根づくこの地域における「生き方」そして未来について語っていただき、多くの示唆に富む講話がなされました。注目される「葉隠」の元も小城市にあり、未来を拓くステップとなりました。　（小城市　村岡　安廣）

■いつもきれいな冊子にしていただいて御送りいただきありがとうございます。いろいろなアイデアを持ち寄って、まちづくりに参画し、ご活躍されているのが目に見えます。私が公務員として（株）地域計画建築研究所（大阪）の方々と一緒に仕事していた頃と同じように。

（高槻市　日野　博彦）

■全国の情報とくに東北生まれ育ちの私には有難い限りです。No.131岩手7年後の被災地の状況など、ふるさとの懐かしさと、有難さに胸が熱くなります。これからも良きネットワークで！　（鹿児島県屋久島町　浦田　功）

■変わりばえしない毎日です。地域活動と時に福大にゼミの他は、読書、雑草取り、散歩に孫の面倒見。よかネットは楽しみのひとつです。ありがとうございます。

（久留米市　河野　泰治）

■まちづくりのテーマを大きく拡げて、株式会社によるNPOのような活動を続けられている貴社に拍手を送ります。新人材も迎えられて、おめでとう。　（坂戸市　水口　俊典）

■情けなくも、加齢と共に落胆することが増える一方。日本経済についてはリフレを持論とし、アベノミクスの方向性は近いとみていたが、6年近くたち、賞味期限切れか、代案もなく残念無念。自身については、体力と自律性の一層の衰えになす術も無く、悲観自虐の日々。夢とうつつのgap拡大が、逆にその境界を曖昧にし、行き着く先は認知症？

（東京都豊島区　佐藤　正憲）

■東日本大震災特集、ありがとうございます。仕事の役目で、熊本地震の際、南阿蘇村の住宅被害認定調査ボランティアを行いました。今月の豪雨でも福岡県の被害が大きく、業界団体で対応中です。　（佐賀市　福田　勝法）

■8月11～12日に九大建築学科の「グッバイ箱崎」イベントがあり、久しぶりに構内を見ました。建築学科は工学部の残された坊主で、他の学科はとうに糸島の方に移り、箱崎キャンパ

スは一部の建物を残して、解体工事中。東京辺りでは、大学の都心回帰があるのに、博多が淋しくなります。　　（小郡市　大渡　剛弘）

志賀島レンタサイクル体験
～爽快な島１周のサイクリング～

山田　龍雄

一昨年の 10 月、弊社の研究セミナーであである地域ゼミにおいて、志賀島でレンタサイクル事業を始めた山崎基康さん（（株）カラクリワークス取締役）に、その取組みの経緯や事業内容等について話をしていただいた。

小生は、志賀島・勝馬にて体験農園を始めて今年で 6 年目。概ね週 1 ペースで志賀島に行くのであるが、サイクリングで島を回る体験はまだしておらず、機会があれば体験してみたいと思っていた。しかし、野菜作りがメインでは、なかなか一人でサイクリングで農地まで行くという心境にはならなかった。

しかし、ひょんなことからサイクリングを体験することになった。

●最近は東南アジア、欧米系も増えている

アルパック大阪（弊社のネットワーク会社）から、今年、入社したベトナム人のホアン･ゴック・チャンさんが、9 月末の連休に弊社を訪れ、「志賀島でサイクリングをしたい」と言ったのである。彼女は、既に四国の「しまなみ海道」や琵琶湖周遊のサイクリングを制覇しており、根っからのサイクリストであった。

いざ志賀島サイクリング出発。
後ろに見えるのがシカシマサイクル

当日は、志賀島の渡船場で待ち合わせし、そこから山崎さんが運営している「シカシマサイクル」の受付に行くと、他にレンタル申込者が 3 組いた。なかなか繁盛しているようである。ちょうど事務所にいた山崎さんに聞くと、今までは中国、韓国系の人が多かったが、最近では東南アジアや欧米系も増えているとのこと。福岡のインバウンドの変化が、少し読み取れる。

私たちは 2 人ともマウンテンタイプ、3 時間コースを選んだ。値段は 2,000 円 / 人であり、事故等の保証の前払い金として 1,000 円（何もなければバックされる）の計 3,000 円を支払い、ヘルメットを装着し、出発した。

●１周 10 キロを３時間ちょうどで周遊

島の東側（左廻り）から走ることにした。先ずは志賀島の守護神である「志賀海神社」を参拝し、海風を感じながら、ゆっくりと走った。

次に、立ち寄ったのが小生が野菜づくりをしている体験農園「百姓園」。ここでは見学だけのつもりだったが、キャベツの苗が届いていたので、チャンさんに定植を手伝ってもらった。

ベトナムには家庭菜園をしている人はいるが、このような体験農園（農家の方の、自分の畑で野菜作りを教えてくれる農園）みたいなシステムはないとのこと。今後、ベトナムの都市住民にも体験農園、市民農園のようなニーズは生まれるかも知れない。

昼食は、山崎さんが紹介してくれた、勝馬にある「満帆荘」で海鮮丼を食べた。海を眺めながら、新鮮な魚の海鮮丼はボリュームもあり、なかなか美味しかった。

注文した海鮮丼が出てくる間、こちらが要望した訳でもないのに、お店の女将さんが志賀島、安曇族の海人伝説について説明してくれるというサービス付きであった。

ゆっくり昼食を頂いたので、残り制限時間は 1 時間となった。あとは一路「シカシマサイクル」に向かい、ちょうど 2 時間 50 分で到着した。

最初は、老体に鞭打って 10 ㎞も走れるのか不安であったが、島 1 周だけのコースは、ほとんどが平坦であり、楽勝であった。

当日は、天気も良く、暑くもなく、本当にラッ

キーな一日となった。

志賀島サイクリングの良さは、やってみないとわからないものである。海風を感じながら、海や島々の景色、途中で眺望できる福岡タワーやドーム等の景色も爽快である。

これを契機に、いつかチャンスがあれば「しまなみ海道」にもチャレンジしてみたいと思った次第である。　　（やまだ　たつお）

近　　況

粋 台湾で見つけた日本

先日、2泊3日で台北に旅行に行ってきました。前回は社員研修で日中はほとんど予定が埋まっていたため、あまり市内を散策できなかったのですが、今回は妻と2人、思いつくまま気ままに行動したので、日常の台湾を見ることができました。

その中で、改めて驚かされたのは街中に日本の商品やお店、文化が溢れていたこと。そんな私が台北で出会った日本を一部ご紹介させていただきます。

●スーパーマーケットにて

滞在中、立ち寄ったスーパーでも多くの日本製品を見かけました。カップラーメンやお菓子、缶詰などの保存がきくものはもちろん、北海道産の冷凍ホタテの貝柱や牛乳、宮崎牛や鹿児島牛なども見かけました。特に日本産の牛肉は人気のようで、今回訪れた2カ所のスーパーのどちらも精肉コーナーの中央、目立つ場所にブランド名とともにおかれていました。少し調べてみると、BSEの問題で2001年9月から禁止されていた日本産牛肉の輸入が昨年9月に解禁、2018年には香港やアメリカを抜いて、日本産牛肉の輸入量で世界首位となっているようです。

また、お酒のコーナーでも日本酒が10数種類売られていましたが、残念ながら九州の銘柄は見つけられず。飲料コーナーで日本の烏龍茶が売られていたのには苦笑しました。

ぐるっと店内を見て回ったところ、野菜売り場と生魚については見つかりませんでしたが、それ以外のコーナーではディスプレイに対して2割くらいが日本製品だったような印象を受けました。値段は日本で購入する場合の概ね1.5～2.0倍程度で販売されていました。

●松山文創園区にて

社員研修の際にも訪れた松山文創園区を再訪。ここでも様々な日本を見かけました。

園内を散策していると目に留まったのは電飾でつくられたゴジラのオブジェ。企画展でゴジラ展を開催しており、夕方の閉館間際でしたがそれでも入場券を買う人が後を絶たないくらいの大盛況でした。また、別の企画展では「世界最美的教科書展」というものが開催されていました。これは日本と台湾の教科書150冊以上を展示している展覧会で、日本の教科書を参考に、日台間の教育的思考の違いを読み解き、台湾における教育の多様性を深化させるきっかけとしたいというコンセプトで開催されているようです。

さらに隣接する誠品生活松菸店内へ。入店すぐのホールでは日本のおもてなしをコンセプトとした雑貨の特設売り場が設けられていました。そのまま店内をぶらぶら、書籍コーナーへ足を運ぶと、ここでも日本のファッション雑誌（日本語）や日本のベストセラー小説が翻訳され、平積みに。特集コーナーでは「いわさきちひろ」が取り上げられていました。

●街中にて

街中では、吉野家や無印良品、ユニクロ、JINSなどの日本の様々な分野の企業が出店しています。また、日本食を提供しているお店も多く、特によく見かけたのが、「日式涮涮鍋」という表記。これは日本式のしゃぶしゃぶという意味で、あちらこちらにありました。また、残念ながらお店は閉店していたのですが門司港焼カレーの看板も見かけました。

さらに日本のキャラクターグッズも多く売られていたのですが、特にサンリオのキャラクター、その中でも「ぐでたま」は人気のようで、台湾の定番虫刺され薬「白花油」とのコラボ商品や台湾企業のキャンペーンキャラクター

スーパーのふりかけコーナー。日本製品には Japan マークがついている

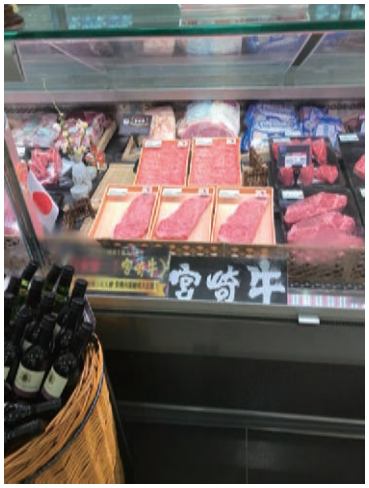
になっていたりと、とにかく見かける機会は多かった気がします。

●一番多く見かけたのは？

ここまで、台湾で見つけた「日本」をご紹介しましたが、もう一つよく見かけたのが「日本人」でした。オプションで申し込んだ九份へのツアーでは 9 月 13 日と連休前とはいえ、平日にもかかわらず我々が利用した HIS だけで大型バス 12 台、およそ 350 人が参加していました。九份に到着すると他の旅行客も加わり、歩けど歩けど日本人ばかり。台北市内に戻って地元のローカルな食堂などに入っても、必ず 1 ～ 2 組は日本人がいるような状況でした。

ちなみに、最も多く見かけたのは 20 ～ 30 代の女性の 2 ～ 3 人組のグループでした。やはりマンゴーかき氷等のスイーツやマッサージ等の美容、手ごろな価格の雑貨など若い年代の女性に対して訴求力の高いコンテンツが豊富なことが大きいのでしょうか。次いで見かけたのは、中学生から高校生くらいの娘さんのいる家族連れだったこともこれに関係があるように思います。割合でいけば、女性のみのグループが 4 割、家族連れが 2 ～ 3 割、夫婦・カップルが 1 ～ 2 割、残りがその他のグループといったところではないでしょうか。

そのような状況もあるからだと思いますが、案内表記には、ほぼ日本語が併記されていましたし、どこのお店でも日本語のメニューが用意されていることに加えて、簡単な日本語であれば通じるなど、言葉の違いに対する戸惑いはほとんど感じられませんでした。



スーパーの精肉コーナーで見かけた宮崎牛。その他はアメリカやオーストラリア産

また、福岡からであれば飛行機で 2 時間程度、旅行代金も場合によっては国内旅行よりも安いため、台湾は非常に気軽に行くことのできる海外だと思います。

今回は、ほぼ台北市内のみの旅行であったため、他地域を訪れれば状況は異なると思います。機会があれば、台中や台南も訪れて、その違いを見つけてみたいと感じました。

（櫻井　恵介）

我が家のリフォーム奮闘記－その 1

●きっかけは専用水道管のやり替えから

今年、築後 30 年を経過した我が家のマンション（我が家のマンションは 4 棟の団地型マンション、計 262 戸）を全面的にリフォームすることにした。昨年度、受水槽から各棟へつないでいる敷地内水道管が漏水したため、全面改修となった。この工事の説明会の折に、専用部分の水道管は、25 年経過した場合には「住まいの保険（住宅の漏水、火災等の災害保障）の対象から外れる」との説明があった。

我がマンションでは、既にリフォームしている世帯も多くあり、専用部分の改修は自己負担で行うこととなっている。そこで、我が家も専用部分の水道管のやり替えを契機として、水回り（キッチン、ユニットバス、洗面所）の改修、各部屋の壁、天井のクロス貼替え、床のクロス貼り（既存の板材の上に床用のビニールクロス貼り）、畳間をフローリングにと全面的な改修となった。

●マンションではリフォームブーム

リフォームすることを、隣近所の知り合いに話したところ、なんと4軒がリフォーム意向を表明された。今は我が家を中心に隣近所の方、2件と相談しながらリフォーム計画を練っているところである。

マンションでは、専用部分の水道管のやり替えというのが原因ではないかと思われるが、今年に入って、10数件はリフォーム工事をしており、今後も増えそうである。

●リフォームをきっかけに「断捨離」

リフォームをすることが決まって、先ずしなくてはいけないのが、いらないものを捨てる（売り払う）という作業であった。

リフォームを思いつかなければ、延々とモノが溜まるだけの生活をしていたのではないかと思う。兎に角、30年間のうちに捨てきれなかった古いパソコン、モニター、音響機器、燻製道具、タンス等々を廃品処理業者の軽トラ一杯に積みこんでもらい、処分した。写真類は、旅行等の思い出として一緒に行った人たちとの記念写真1～2枚を残し、ほぼ捨ててしまった。

ひょっとしたら、死ぬまでにもう一回読むかもしれない本以外は、すべてブックオフやリサイクルセンターに持って行った。

しかし、今だ捨てきれないのが、面白いと思って、切り抜いた月刊誌や雑誌等の記事である。これらもいずれはパソコンに取り込まないといけないと思っている。

今からは食器類と洋服類の断捨離である。最小限のモノだけにしたいと思っているが、果たしてどこまでできるかはやってみないとわからない。

●二重サッシの取り付け

部屋の結露防止と断熱性を高めるため、窓サッシ3面の内側にエコ対応型のサッシを思い切って取り付けることにした。安価にするためには外側の窓をエコガラスに替えればよいのであるが、マンション管理規約上、外側の窓は共用部に該当するため変更は認められない。そこで現サッシの内側にエコ対応型のサッシを取り付けることとした。二重サッシの断熱効果を体感できるので、非常に期待しているし、楽しみでもある。

●3社から見積～100万円以上の差

8月にはリフォームの計画図と仕様書を作成し、3社から見積をとった。金額的には最小と最大で100万円以上の差があった。3社の見積を比較すると、システムキッチンやユニットバスなどの既製品の価格は大きな差はない。差が生じたのは人件費（単価と人日）であった。結果的には一番安かった業者さんにお願いすることになった訳だが、依頼した業者さんは、我がマンションのリフォームの実績があり、配管等の設備工事に長けていたことや、技術者の方が工事を安価にするための色々な提案をしてくれたことが決め手になった。

例えば、こちらとしては安く収めるために既存の下駄箱やカップボード（キッチン後ろの食器棚）を改造する絵を描いていたのであるが、すべて既製品の下駄箱やカップボードに切り替えて、その後DYIでやった方が半額程度で済むことがわかった。

今後のリフォーム工事の段取りとしては、9月中に最終見積の確認、10月半ばに契約、11月に工事開始となり、なんとか年内にリフォーム後の住まいで生活できればと思っている。

工事中の暮らしについては、一時期、ゲストハウスに宿泊するか、住まい内移動で済ませるか、これから業者さんと打合せ予定である。工事中の苦労話、リフォーム完了後の感想、について、「よかネット」に掲載予定である。

（山田　龍雄）

関西旅行記

●2泊3日で京都・大阪を巡る

京都・大阪は観光地として非常に人気があり、国内外から多くの観光客が集まっています。日本政府観光局（JNTO）が出した「訪日外国人の2017年都道府県別訪問率ランキング（観光・レジャー）」によると、大阪府は44.1%（1位）、京都府は30.7%（4位）で観光地として非常に大きな魅力を持っています。

私自身、関西の文化が大好きでよく観光に訪れているのですが、いつも同じコース（道頓堀

錦市場商店街：長いアーケードに沢山の買い物客であふれていた

や清水寺など）を巡っており、今回は今迄に行ったことが無い場所にも行こうと決め、旅行計画を考えました。その中で特に思い出に残った2つの場所を紹介します。

●京都の錦市場商店街

錦市場は「京の台所」と呼ばれており、道幅が3.3メートルから5メートルで東西390メートルに渡って続いているという細長い商店街に126軒の店が構えています。市場の中では海産物や漬物、日本酒をはじめ沢山の食材が揃っていました。私は日本酒を頂きつつ、はも、コロッケ、イカ等様々なものを食べ歩きしましたが、どれも大変美味しかったです。

錦市場は2往復ほどしましたが、京都の食文化を実際に「見る・聞く・味わう」ことが出来る大変魅力的な市場でした。

●大阪は鶴橋商店街・生野コリアタウン

大阪のコリアタウンは郭辰雄氏「住民の国際色を活かした地域づくり～生野コリアタウンでの取り組み～」によると戦前から戦後の間に労働力として、済州島や朝鮮半島からやってきた朝鮮の人々が形成したと言われています。現在でも、多くの在日韓国・朝鮮人、韓国系日本人が暮らしています。

鶴橋商店街・生野コリアタウンを実際に訪れてみると、鶴橋商店街では、狭いアーケードの中で焼肉屋さんや、キムチ、チヂミなどが並んだお店がたくさん見られ、地元のお客さんが買い物に来られていました。生野コリアンタウン

大阪生野コリアタウン：若い１０代の女性が多く見られた

では、韓国グルメをはじめ、K-POPグッズやコスメを販売しているお店が多く立地していました。昨今のK-POPブーム等により、沢山の賑わいを見せており、特に10代～20代の女性が多くみられました。日本にいながら、まるで本当に韓国の市場にいるような感覚を味わうことができて大変面白かったです。

今回の関西旅行では、それぞれの都市の特色ある下町を中心に観光してきましたが、大変記憶に残る旅となりました。ぜひ、また遊びに行きたいと思います。

参考資料
錦市場商店街HP　2018/9/26閲覧
http://www.kyoto-nishiki.or.jp/about.html

（仙波　大海）

よかネット 新米お父ちゃん頑張ってます

今年1月に息子が生まれて9か月、一緒に暮らし始めて7か月が経過した。この間、特に大きな病気もせずにスクスクと育ってくれている。今では食事もしっかり食べ、擦りバイ、支え立ち＆よじ登りをするまでになった。特にびっくりしたのは、支え立ち＆よじ登りである。朝からソファによじ登り、テレビや電気のリモコンをバンバンと叩く、投げる。まぁ、それは可愛いものであるが、まだ、しっかりと体を支えることができないために、倒れそうになることが多々ある。その度に、妻ともども冷や汗が出るが、当の本人は、親の心配とは裏腹に満面の笑み。

まだ９か月、されど９か月。感情表現が豊かなことに驚かされる。好きなことは、高い声で「もっとやって」という感じで笑う。嫌なことは、低い声で「嫌だよ」という感じで唸ってくる。他にも、何かしてほしいことがあると笑顔で駆け寄って来たり、わざと泣き声を上げたり、握っている物を落としたりと、まぁ、あの手この手で気を引いてくる。これほど、色々なことをするのかと驚かされてばかりだ。

さて、平日は、なかなか触れ合う時間はない分、休日は食事とお風呂当番として、朝と夕の２回の食事とお風呂を入れている。食事は、しっかり食べており残すことはまずないが、苦手なものがトマトとジャガイモのようで、その時のしかめっ面は何とも言えない。好きなものと一緒に食べる分は普通に食べるのだが、トマトとジャガイモを混ぜたものを食べさせた時は泣いてしまった。泣いたのは、後にも先にもこれが最初で最後である。「赤ちゃんでも、ちゃんと味覚はあるのだなぁ」と感心してしまった。

お風呂に入れるのは長い期間、泣かれていた。普段のお母さんと入れ方と違うためか、特に体を洗う時に全力で泣かれていた。ところが、最近はようやく慣れていただき、気持ちよく入っているみたいだ。あと３か月で誕生して１年が経つ。１年間を経過した時、お父ちゃんとしてどれだけ成長できただろうか。教えてくれるかなぁ。　　（山﨑　裕行）

表　紙　解　説

●賃貸用・売却用の空き家、その他の住宅の空き家率の比較

地域の成り立ちや地域の住宅開発の歴史によって住宅ストックの形成、空き家の発生状況は異なる。表紙の図は、県内の４生活圏の市町別に「賃貸用・売却用」の空き家と「その他の住宅」の空き家を住宅総数に対する空き家率で、分布状況をみたものである。

市区町の人口、世帯の動向と比べると、住宅需要が未だに続いている福岡地域の市区町では、人口増と世帯増が一致するところが多い。しかし、人口は減少しても世帯は増加、人口、世帯とも減少など様々な動きが見られる筑豊地域、北九州地域、筑後地域の市町などもある。

両空き家率による分布状況では、福岡地域の市区町は、両指標の空き家率は他地域と比べて低い位置にあり、筑豊地域の市町は「その他の住宅」空き家率が高く、北九州地域の市区町はこれに次ぐ高い位置にある。そして筑後地域の市町は、福岡地域と北九州地域との中間に集まっているなど、生活圏域によって市区町の位置はある程度まとまっているようにみえる。

●福岡地域

福岡地域の中央区、東区、南区、城南区、博多区の５区では、「その他の住宅」空き家率は低いが、「賃貸用・売却用」空き家率が高く、西区、早良区の「賃貸用・売却用」空き家率は比較的低い。また、東部の宗像市、福津市、新宮町、東南部の宇美町、西部の糸島市が、「その他の住宅」空き家率が、福岡地域の中で比較的高いのは、古くから開発されてきた住宅団地や既存の集落や市街地などの古い住宅が「その他の住宅」として空き家になっているものと考えられる。

●北九州地域

北九州地域では、苅田町の「賃貸用・売却用」の空き家率」が高く、ものづくり産業の集積する町であることから、企業従業者向けの「賃貸用の住宅」の集積による空き家と想定される。

「その他の住宅」空き家率が低い小倉北区、小倉南区、戸畑区、水巻町、中間市、行橋市、岡垣町などの市区町では、「賃貸用・売却用」の管理されている空き家の比率に高低差がみられ、小倉北区、戸畑区など都心や都心に近接する地域の空き家率は高い。また「その他の住宅」空き家率が 10%前後の八幡東区、門司区、みやこ町、築上町、豊前市のうち、「賃貸用・売却用」空き家率が低い築上町、豊前市は、人口流出や高齢者の長期不在による空き家が発生していることが考えられ、筑豊地域の市町でも同様な空き家の発生が考えられる。

●筑豊地域

筑豊地域では、飯塚市の「賃貸用・売却用」空き家率が高い位置にあるが、「その他の住宅」空き家率を加えると、田川市や直方市などと同水準の空き家率 16 ～ 18%である。宮若市の場合、空き家率の計が約 20%であり、県下の市町の中でも高い空き家率となっており、筑豊地域の市町、北九州地域の一部がこれに次ぐ空き家率となっている。

●筑後地域

筑後地域では、「その他の住宅」空き家率は、各生活圏域の中間的な位置に集まっている。また「賃貸用・売却用」空き家率は、久留米市、小郡市、筑後市、うきは市の順に高く、柳川市、大川市、大刀洗町、みやま市、八女市、広川町の空き家率は 4%以下となっている。ただし、大牟田市は、「その他の住宅」空き家率が高く、空き家数のボリュームも大きく、筑豊地域や北九州地域の高い空き家率の市町と同じ位置にあり、直方市、田川市など同様に、人口減少に伴う空き家の発生増が考えられる。

空き家「その他の住宅」1,000 件以上

市区町	住宅総数	空き家・その他の住宅	その他の空き家率
■ 八幡西区	127,470	6,510	5.1%
▲ 大牟田市	58,620	5,400	9.2%
■ 門司区	53,350	5,350	10.0%
▲ 久留米市	137,120	5,330	3.9%
■ 小倉北区	106,710	5,250	4.9%
● 飯塚市	66,380	4,670	7.0%
◆ 東区	165,310	4,300	2.6%
◆ 早良区	103,660	3,790	3.7%
■ 八幡東区	38,540	3,580	9.3%
◆ 南区	132,860	3,530	2.7%
■ 若松区	38,670	2,920	7.6%
■ 小倉南区	99,310	2,860	2.9%
◆ 西区	93,750	2,730	2.9%
● 直方市	26,620	2,580	9.7%
● 嘉麻市	19,430	2,450	12.6%
◆ 中央区	130,250	2,340	1.8%
● 田川市	25,260	2,200	8.7%
▲ 八女市	25,070	2,190	8.7%
◆ 城南区	73,100	2,170	3.0%
▲ 柳川市	25,590	2,000	7.8%
◆ 宗像市	42,470	1,980	4.7%
◆ 朝倉市	22,310	1,940	8.7%
■ 行橋市	32,180	1,790	5.6%
◆ 糸島市	37,920	1,730	4.6%
■ 豊前市	12,170	1,660	13.6%
● 宮若市	13,350	1,630	12.2%
◆ 博多区	155,110	1,630	1.1%
◆ 福津市	24,700	1,520	6.2%
■ 戸畑区	32,570	1,470	4.5%
▲ みやま市	14,730	1,390	9.4%
◆ 春日市	47,650	1,370	2.9%
◆ 筑紫野市	45,200	1,260	2.8%
◆ 太宰府市	31,980	1,260	3.9%
● 鞍手町	7,900	1,150	14.6%
■ 中間市	20,350	1,140	5.6%
● 福智町	10,580	1,110	10.5%
■ 築上町	9,780	1,060	10.8%
▲ 小郡市	23,590	1,050	4.5%
● 川崎町	9,020	1,040	11.5%
▲ 筑後市	19,380	1,000	5.2%

資料：住宅・土地統計調査（平成 25 年）
■北九州地域◆福岡地域●筑豊地域▲筑後地域

●「その他の住宅」空き家の多い市区町

表は、「その他の住宅」空き家が 1,000 件以上と推定されている市区町である。筑豊の市町の全体空き家率 20%と高いものの、空き家の件数でみると、北九州、筑後の市区町が上位に位置している。空き家は、市街地や郊外、農漁村地域等、様々な地域に立地しており、その数も状態も多様だが、災害時の仮設住宅活用や交流施設活用など、地域の知恵で活用方策を生み出していくことは、重要な課題と思う。

※1「住宅・土地統計調査」は標本調査であり、約 15 分の 1 の割合で無作為に抽出されており、調査結果数値には標本誤差を含んでいる。推定値（結果数値）の大きさに対して標準誤差率があり、福岡県の場合、5 ～ 10 万人の都市では推定値 2,000 に対して ± 10%程度、5 万人未満の市では、推定値 2,000 に対して、± 7%程度の標準誤差率とされている。推定値が小さくなるほど誤差率は大きくなる。

編集後記

今年は台風や豪雨、そして地震が、次々と日本を襲っています。建物やインフラの強靭化は、今後ますます重要な課題になると感じています。　（べ）

よかネット　No. 132　2018.10
（編集・発行）
㈱よかネット
〒 810-0802 福岡市博多区中洲中島町３番８号
福岡パールビル８階
TEL 092-283-2121　FAX 092-283-2128
http://www.yokanet.com
mail:info@yokanet.com
（ネットワーク会社）
㈱地域計画建築研究所
本社　京都事務所　TEL 075-221-5132
大阪事務所　TEL 06-6205-3600
東京事務所　TEL 03-3288-0240
名古屋事務所　TEL 052-462-1030